

第 859 回

環境科学共同セミナー

下記の通りセミナーを開催します。
このセミナーは、SATO拠点などとの共催で行われます。

日時：2022 年 1月 17日 月曜日 13:15～16:30

場所：オンラインのみ

<https://forms.gle/GsHWkIn8sbdfeT8v7> で事前受付 (1/14まで) 後、
小野寺まで連絡が必要



「瀬戸内海の順応的栄養塩管理－最近の取り組みと
今後の課題－ (第23 回 水環境フォーラム in 岡山)」

講演者：

環境省・室長・行木 美弥

岡山市下水道河川局・課長補佐・江本 和生

岡山県農林水産総合センター・専門研究員・高木 秀蔵

広島大学・名誉教授・山本 民次

受付先：小野寺 真一 (広島大学大学院先進理工系科学研究科) 内線：6496
sonodera@hiroshima-u.ac.jp

責任者：中坪孝之 (広島大学大学院統合生命科学研究科) 内線：6506

本セミナーは理系大学院(総合科学・先進理工系科学・統合生命科学・生物圏科学・医系科学研究科)の認定科目です。 *今回は2回分相当です。



第23回 水環境フォーラム in 岡山

瀬戸内海の順応的栄養塩管理 – 最近の取り組みと今後の課題 –

- 日時：令和4年1月17日（月）13時15分～16時30分
- 場所：オンライン（Zoom）
- 主催：（公社）日本水環境学会 中国・四国支部
共催：（公財）おokayama環境ネットワーク，広島大学 SATO インキュベーション研究拠点
- 概要：瀬戸内海的环境保全については，令和3年の瀬戸内海環境保全特別措置法の改正により「順応的管理を行う栄養塩類管理制度」が盛り込まれ，近年では海域ごとの実情に応じた様々な取り組みが始まっています。この講演会では，瀬戸内海の順応的栄養塩管理について，国としての政策および岡山県での取り組みについてご紹介いただき，さらに科学的知見を踏まえた今後の在り方について考えたいと思います。

■ プログラム ■

- 13:15～13:20 開会の挨拶・趣旨説明
- 13:20～14:05 環境省水・大気環境局水環境課閉鎖性海域対策室・室長・行木 美弥
「瀬戸内海における水環境行政の最近の動き（栄養塩類管理を中心に）」
- 14:05～14:50 岡山市下水道河川局下水道施設部下水道施設管理課・課長補佐・江本 和生
「きれいで豊かな海を目指した下水処理場の取り組みについて」
- 14:50～15:35 岡山県農林水産総合センター 水産研究所・専門研究員・高木 秀蔵
「岡東浄化センターにおける栄養塩管理運転の影響調査」
- 15:35～16:20 流域圏環境再生センター・所長（広島大学名誉教授）・山本 民次
「水産資源の回復と水質保全は相反関係か？—食物連鎖のダイナミクスから理解する—」
- 16:20～16:30 総合討論

- 参加費：無料 募集定員：100名（先着順）
- 参加申し込みが必要です【〆切：1/14（金）12:00】
申し込みは [こちら](https://forms.gle/GsHWkIn8sbdfeT8v7)（↓）：
<https://forms.gle/GsHWkIn8sbdfeT8v7>

【お問い合わせ】

岡山大学 学術研究院 環境生命科学学域・永禮 英明
E-mail: jswe-okayama@s.okayama-u.ac.jp

